

平成21年2月17日

小樽市長 山田 勝 磨 様

小樽市総合計画審議会

会長 秋山 義 昭

## 『第6次小樽市総合計画』基本計画（案）について

平成20年12月26日付、樽企第312号により本審議会に諮問されました『第6次小樽市総合計画』基本計画（案）について、全体会議及び分科会において慎重に審議を重ね、別紙のとおり意見を取りまとめましたので答申いたします。

基本計画の決定及び推進に当たっては、別紙意見の趣旨が十分生かされますよう希望します。

---

---

『第6次小樽市総合計画』

基本計画(案)についての答申

---

---

平成21年2月

小樽市総合計画審議会

## 記

### 【計画全体に関すること】

成果指標の目標値について、事実上同義と思われる数値や文言の表記が混在しているので統一性に配慮されたい。

### 【まちづくり 5つのテーマに関すること】

#### 『1 心豊かに学び、地域文化をはぐくむまち（生涯学習）』

##### 1) 学校教育

「市立小・中学校の校舎等の耐震化率」の成果指標については、極力数値で示すよう配慮されたい。

##### 4) スポーツ・レクリエーション

プール建設については、民間プールを代替活用すべきとの意見もあったが、原案どおりで妥当と考える。

#### 『2 とともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち（市民福祉）』

##### 1) 地域福祉

公共施設のバリアフリー化について、一層推進していくよう配慮されたい。

##### 2) 子育て支援

子育て環境の整備のほかに、出産に対する経済的な不安を解消するための支援についても配慮されたい。

##### 4) 障がい者福祉

障がい者自身や障がい者受入施設の立場に立った支援に配慮されたい。

##### 7) 男女平等参画社会

市が率先して女性職員の幹部登用を進めるよう配慮されたい。

『3 安全で快適な住みよいまち（生活基盤）』

1) 上下水道

成果指標については、更新延長や箇所数を合わせて示すなど、より分かりやすい指標となるよう配慮されたい。

3) 住宅

成果指標「市営住宅の建替・改善事業の実施戸数」の目標値(整備戸数)については、より分かりやすい表記に改められたい。

5) 市街地整備

整備新幹線に関して、「新幹線を活用したまちづくりの検討」では表現が弱いと思われる。より積極的にまちづくりに取り組む姿勢が読み取れるよう配慮されたい。

『4 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち（産業振興）』

1) 農林業

産業としての農業を再生させていくための方策が盛り込めないか検討されたい。

余市や仁木など後志圏と連携したブランド化の推進が必要であり、食の安全に対する基準づくりを含めて検討されたい。

2) 水産業

漁業や水産業は、小樽観光にとっても食の部門を担う重要な産業であるとの認識に立ち、生産者の支援などに配慮されたい。

5) 観光

現状と課題の項で「東アジア圏を中心とする外国人観光客が増加傾向」とあるが、昨今の円高の影響を踏まえた表現になるよう検討されたい。

7) 雇用・労働

雇用の場の確保は、人口流出を抑えるための最重要課題であるとともに、本計画の意欲を示す大事な政策であることから、官民の努力姿勢や重点の置き所など、より強調されるよう配慮されたい。

若年者はもちろん、高齢者や中途退職者の再就職につながるよう、職業訓練機関の活用についても検討されたい。

『5 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち（環境保全）』

1) 環境保全

成果指標「水質改善河川数」については、内容が専門的すぎるため、公害の発生件数0件を今後も維持していくといった、より分かりやすい成果指標とされたい。

4) 都市景観

成果指標「歴史的建造物めぐり・八区八景めぐりへの申込者数」については、もっと高い目標値とすべきである。また、参加対象を市民に限らず、観光関連とリンクさせることについても検討されたい。

## 【元気づくりプログラムに関すること】

### 戦略2)「観光波及効果の拡大」による元気づくり

(1) 時間消費型観光の推進

時間消費型観光を推進するために、宿泊を含め長時間の滞在につながるようなメニュー開発を今後検討されたい。

時間消費型観光という表現は、計画上の表現としては止むを得ないが、誘致活動などの対外的な使用に際しては誤解を与えぬよう注意されたい。

(2) 旧国鉄手宮線の整備と利活用

運河と中心部をつなぐ貴重な歴史的資源として旧国鉄手宮線にターゲットを絞ることは戦略的に正しいと考えるが、その一方で市内各所にある他の観光資源についても一層活用されるよう念頭に置いて進められたい。

### 戦略3)「産業活動の活性化」による元気づくり

(1) 地場産業活性化の促進

ブランド化推進のためには、近隣他地域との連携が欠かせない。しっかりとした基準づくりと今後10年間にすべきことを整理して戦略的に取り組まれたい。地産地消を推進するために、市民に対して地場産品をアピールできる場の創出について検討されたい。

以 上

## 『第6次小樽市総合計画』基本計画案 審議経過

### 〔全体会議関係〕

平成20年12月26日(金) 第6回審議会  
第6次小樽市総合計画基本計画(案)の諮問  
分科会の設置並びに所掌事項及び所属委員の確認  
・教育福祉部会、産業環境部会

平成21年2月12日(木) 第7回審議会  
分科会報告書の提出  
答申案について審議

### 〔調整会議関係〕

平成21年2月3日(火) 審議会会長、同副会長、両分科会長  
分科会報告書の確認  
答申案の確認

### 〔分科会関係〕

#### 教育福祉部会

平成21年1月16日(金) 第1回教育福祉部会  
分科会長の互選、今後の進め方  
基本計画(案)について

平成21年1月23日(金) 第2回教育福祉部会  
基本計画(案)について

#### 産業環境部会

平成21年1月22日(木) 第1回産業環境部会  
分科会長の互選、今後の進め方  
基本計画(案)について

平成21年1月27日(火) 第2回産業環境部会  
基本計画(案)について

平成21年1月29日(木) 第3回産業環境部会  
基本計画(案)について